

なんでやねん

発行責任者：倉橋 忠

No.44

ぎよす ぎ しょくがい 民衆の暮らしと行基の生涯

行基(668~749年)は、奈良時代の代表的な僧である。和泉国大鳥郡(現在の堺市・高石市)の人で、父は百済からきた王仁博士の子孫の高志才智、母は蜂田古爾比売である。

行基は15歳で出家し葛城山の高宮寺で戒師徳光から学び山林修行を行った。その後、飛鳥寺で仏教学研究と山林修行をし、37歳まで元興寺で道昭から学んだ。道昭は、遣唐使の一員として唐に渡り三藏法師玄奘のもとで禅学を学んだ僧である。行基は、道昭が唐から持ち帰った三階宗の書籍にふれ感動した。そこには、大乗佛教の修行者は山林の生活を捨て、民衆のために布教活動に従事すべきだと記されていた*1。

10年以上してきた山林修行に価値がないと感じた行基は大鳥郡へ帰った。その後、行基は、故郷で病の母親の介護をしながら、民衆のための仏教活動を考えていた。

45歳になったとき、行基は、平城京周辺で民衆のための布教活動を行うようになる。平城京は豪壮な都城であったが、それは民衆への過酷な負担に支えられたものであった。平城京造営のための役民や納税のため京へ上る運脚の人々の中には、旅費がなく故郷に帰れずに京にとどまらざるをえなかった者もあった。

行基は、そのような人びとを救済するために、平城京周辺で、布施屋や院の建設に乗り出した。布施屋は交通の要地に設置する、調・庸の税を背負い都に届けに行く農民たちに一夜の宿と飲食物を提供する簡易宿泊施設である。院は民衆のための寺院であり修行の道場でもあったが、寺院を私的に建設することは法律で禁止されていたから、垣根をめぐらした建物という意味で院と名乗った。院は行基の布教活動の拠点となった。院は畿内一円に広がり、一般に四十九院と呼ばれる*2(次ページの表参照)。

行基は一人ではなかった。行基の活動は、彼の弟子の僧たちと民間人で形成された「知識」という組織に支えられていた。施設を建設する資材の調達のため、行基は、

行基菩薩坐像
奈良市 唐招提寺資料出所：堺市博物館『行基 一生涯・事跡と菩薩信仰』
1998年 p.33

*1 吉田靖雄「行基の生涯と事跡」堺市博物館『行基－生涯・事跡と菩薩信仰－』1998年p.74。
*2 宮崎健司「国家佛教と東大寺」中村修也編著『続日本紀の世界』思文閣出版 1999年 p.57.

出家の弟子には乞食修行を勧め、在家の弟子には罪とがを減ぼす布施行を勧めた。行基が教えを説き始めると、街角には1000人以上が集まつたと伝えられる。行基たちの集団は、朝廷から脅威として受け取られ活動を弾圧された。行基たちは、活動の舞台を平城京から畿内周辺地域へと移した。

行基は55歳になった。723年に三世一身法が出されると、行基は貧しい農民の暮らしを助けるために溜め池・用水路を造営するなどの活動を活発に行つた。行基の溜め池・用水路工事は、堀川・橋・道路へと拡大した。しかし、朝廷の弾圧がさらに厳しくなり、行基は、集団を解散して一時故郷に退散した。

731年に聖武天皇は行基の業績を認め、その活動を保護するようになった。活動を再開した。いつしか、行基は農民たちに「行基菩薩」と呼ばれるようになつてゐた。

743年、聖武天皇が大仏造営の詔を出すと、行基は弟子らを引率して勧進役を勤めた。2年後、日本初の大僧正に抜擢されたが、749年、大仏の完成を見ずに他界した。

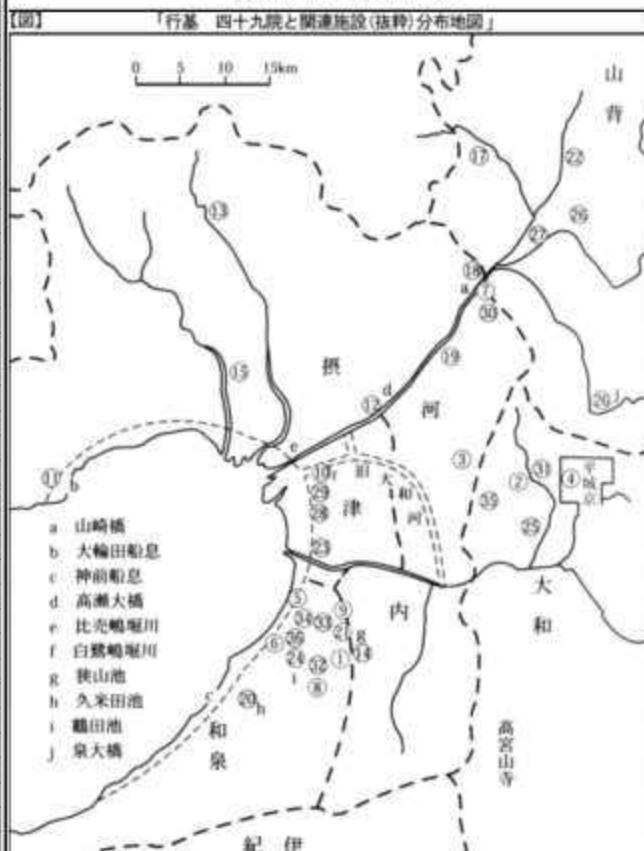
【行基と弟子たちの業績】

- ①架橋(橋を架けること)6カ所 … 山城国に2カ所・摂津国に4カ所。
- ②道路1カ所 … 高瀬より生駒大山に登る道の一部。
- ③溜め池15カ所 … 河内国に1カ所・和泉国に8カ所・摂津国に6カ所。
- ④用水路7カ所 … 河内国に1カ所・和泉国に3カ所・摂津国に3カ所。
- ⑤水門3カ所 … 河内国に3カ所。
- ⑥船泊り2カ所 … 和泉国に1カ所・摂津国に1カ所。
- ⑦堀川4カ所 … 河内国に1カ所・摂津国に3カ所。

- ⑧布施屋9カ所 … 山城国に2カ所・河内国に2カ所・和泉国に2カ所・摂津国に3カ所。

番号	建立年	寺院名	比定地(現在の地名)
1	705	大修院院 高藏	大阪府堺市高倉台
2	718	隆福院 登美	奈良市大和田町追分
3	720	石透院	大阪府東大阪市日下町
4	721	菅原寺 喜光寺	奈良市菅原町
5	724	清淨土院 高瀬	大阪府堺市湊町
6	724	清淨土院 尼院	大阪府高石市
7	725	久修圓院 山崎	大阪府枚方市楠葉中之芝
8	726	捨尾池院	大阪府堺市捨尾
9	727	大野寺	大阪府堺市土塔町
10	730	善源院 川端	大阪市西成区～西淀川区
11	730	船息院	神戸市兵庫区
12	730	高瀬橋院	大阪市東淀川区
13	730	摂津院	兵庫県猪名川町木津
14	731	狹山池院	大阪府南河内郡狭山町
15	731	毘沙門院	兵庫県伊丹市寺本
16	731	法御院 檜尾	京都市伏見区深草谷口町
17	731	大井院	京都市右京区天竜寺造路町～西京区嵐山山田町
18	731	山崎院	大阪府三島郡島本町
19	733	枚方院	大阪府枚方市伊賀置
20	734	隆池院 久米多	大阪府岸和田市池尻町
21	734	深井尼院 香琳寺	大阪府堺市深井
22	734	吉田院	京都市左京区吉田佛業岡町
23	734	吳坂院	大阪市住吉区長峠町
24	737	鶴田池院	大阪府岸和田市草部
25	737	膳院	奈良県大和郡山市矢田町
26	740	覺菩提院 泉穂院	京都府相楽郡山城町上狛
27	740	泉福院	京都市伏見区
28	745	大福院 御津	大阪市南区御津寺町
29	746	難波度院	大阪市東淀川区
30	不明	報恩院	大阪府枚方市楠葉
31	不明	鳥園院	奈良市正田町
32	750	大庭院	大阪府堺市大庭寺
33	680	蜂田寺 蕁林寺	大阪府堺市八田寺町
34	704	家原寺 神崎院	大阪府堺市家原寺町
35	707	生馬仙廬	奈良県生駒市有里町
36	708	新鷦寺	大阪府堺市鳳北町

宮崎健司「国家仏教と東大寺」中村修也編著『続日本紀の世界』思文閣出版 1999年 p.58。



資料出所：宮崎健司「国家仏教と東大寺」中村修也編著『続日本紀の世界』思文閣出版 1999年 p.59より。